

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	建設リサイクル推進事業費		<b>担当部局庁</b>	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		<b>作成責任者</b>	産業廃棄物課長 塚本直也	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成19年度～		<b>担当課室</b>	産業廃棄物課				
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	4. 廃棄物リサイクル対策の推進 4-2 各種リサイクル法の円滑な施行によるリサイクル等の推進				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第3条		<b>関係する計画、通知等</b>	特定建設資材に係る分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の促進等に関する基本方針				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	建設廃棄物の現状を調査把握し、適正な分別解体や再資源化等の方策を検討するとともに、関係者への制度の周知を行うこと等により、平成20年度に取りまとめられた建設リサイクル制度の施行状況の評価・検討を踏まえた建設リサイクル法制度の円滑な施行を図る。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	廃石膏ボードは今後増加が見込まれるが、最終処分場の新規開設が伸び悩み、リサイクルに係る体制や技術等が未確立であることから、廃石膏ボードの現状を調査し、廃石膏ボードのリサイクルの課題の抽出、課題解決に繋げる複数の方策の検討等を行う。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	14	10	5	4	3	
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	0	0	0	0		
	執行額	14	10	5	4	3		
	執行率 (%)	3	21%	0%	80%			
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	建設リサイクル法における特定建設資材の再資源化等の実施率(コンクリート塊)	成果実績	%	-	-	-	95	
		達成度	%	-	-	-		
	建設リサイクル法における特定建設資材の再資源化等の実施率(アスファルト・コンクリート塊)	成果実績	%	-	-	-	95	
		達成度	%	-	-	-		
	建設リサイクル法における特定建設資材の再資源化等の実施率(建設発生木材)	成果実績	%	-	-	-	95	
達成度		%	-	-	-			
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	調査件数	活動実績 (当初見込み)	件	1 (2)	0 (1)	1 (1)	— (1)	
<b>単位当たりコスト</b>	3.7(百万円/件)		算出根拠	執行額/調査件数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	4	3					
	計	4	3					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	全国的な廃石膏ボードリサイクルの現状把握とリサイクルの推進に向けた課題等を抽出する事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	競争入札により、競争性を確保している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	自治体、処理業者、石膏ボードメーカーに対するアンケート調査等を実施し取りまとめることにより、それぞれの取組主体の現状と課題の抽出が効果的に実施できた。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>廃石膏ボードのリサイクルの現状と課題を各関係者等への調査により包括的に取りまとめたことにより、今後のリサイクルのあり方等を検討する上での基礎資料として活用できる。</p>					
外部有識者の所見						
<p>何故、23年度は執行していないのか、明確でない。22年度の結果を踏まえ、24年度はどのように執行したのか、また、25年度はどのように執行するのか、いずれにしても調査の進め方をまず、明らかにした上で、何を最終目標にしているのか明確にする必要がある。</p>						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>これまでの執行内容を明らかにするとともに、今後の調査目標を明確にすることにより、事業内容を検討すること。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	<p>平成23年度は、予算措置をしていなかった災害廃棄物対策関係事業に流用した。 平成24年度から、当初の予定どおり廃石膏ボードの再資源化促進及び新たな制度のあり方検討事業を実施し、平成25年度を持って事業終了 平成26年度からは審議会が国が検討すべきとされた別項目について順次、調査検討を行い、建設リサイクルの促進、廃棄物適正処理の徹底を進める。</p>					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	110	平成23年	101	平成24年	100

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

環境省  
4百万円

↓  
一般競争入札

A. (株)リサイクルワ  
ン  
4百万円

（  
廃石膏ボードの再資源化  
促進方策等検討業務  
）

資金の流れ  
（資金の受け取  
り先が何を行っ  
ているかについ  
て補足する）  
（単位：百万  
円）

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(株)リサイクルワン			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
		4.0			
計		4.0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

本業務は請負契約であり成果物の対価として  
 支払いを行うものであるため、精算報告書等の  
 提出を要さないが、国費の支出の透明性を図る  
 ため任意で提出依頼を行ったところ回答を得る  
 ことができなかった。

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)リサイクルワン	廃石膏ボードの再資源化促進方策等検討業務	4	2	75%